

東奥日報

9月13日(火)

〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社

読者相談室 017-739-1500
報道部 017-739-1173
生活文化部 017-739-1166
営業編成局 017-739-1184
読者局 017-739-1127
購読申し込みは0120-46-5939

©東奥日報社 2011

50年の節目240人祝う

全労済県本部 青森で記念式典

全労済県本部は12日、青森市のホテル青森で創立50周年の記念式典を開き、会員団体、労働組合、地区共済会の関係者ら約240人が、半世紀の歩みを振り返りながら節目の年を祝った。

式典では、石利博本部長が「東日本大震災改善した。卸売業と小売業が改善したが、残る4業種は低下した。来期はマイナス42・7に上向く見込み。」

席上、事業に貢献、功績のあった2個人22団体と、記念事業として行ったフォトコンテストの入賞者を表彰。NPO法人「白神山地を守る会」の永井雄人氏が講演した。

【下北地区】126社が回答、マイナス50・8と前期比19・3ポイントの大幅な低下となった。6業種すべてが低下した。来期はマイナス50・8と横ばいを予測した。

全労済県本部は1961(昭和36)年9月12日、「県労働者共済生活協同組合(青森労済)」として発足。現在の加入組合員は26万8千人、加入件数は42万件。震災関連では、

(岡田圭逸)

(44件)の順だった。業種別では「建設」が56件と最も多く、「旅館・ホテル」、「機械・金属等製造」、「アパレル」と続いた。



全労済県本部創立50周年の節目を祝う記念式典の出席者ら

8月29日現在、被災者に対する共済金の支払

金額が4億2622万円に上っている。
(加藤景子)